

第73回全日本女子ホッケー選手権大会

第2日

開催日時 11月24日(土) 会場 親里ホッケー場 天候 曇

< A組 >

| | | | | |
|---------------------------------------|----|--|---|--------------|
| コカ・コーラウエスト <small>レッドスパークス</small> | 6 | $\left(\begin{array}{c} 5-0 \\ 1-2 \end{array} \right)$ | 2 | グラクソ・スミスクライン |
| 勝点 6 2勝 | | | | 勝点 3 1勝1敗 |
| | 9 | PC | 4 | |
| | 20 | シュート | 4 | |

| | |
|----|---|
| 得点 | コカ → 6・13・34分李、18・31分金、48分新井 グラ → 50分神内、63分小沢 |
| 戦評 | コカのセンターパスにより試合が開始された。試合開始早々5分、コカはPCを獲得。DF李が強烈なスウィープシュートをゴール右下に決め先制する。負けじとGSKは10分にPCを獲得。しかし、同点に追いつくことが出来ない。コカは13分にまたもPCを獲得。今度は李が豪快なフリックシュートをゴール左上に決め2-0とする。波に乗るコカは18・31分得点しGSKを突き放す。GSKはカウンター攻撃で攻めるもののコカのDF陣に阻まれてしまう。コカは34分にも1点を追加し、前半を5-0で折り返す。 後半もコカの勢いはとまらず49分FW新井がリバースシュートをゴール左に決める。一矢報いたいGSKは50分、FW片峯のパスを受けた神内がシュートを決め6-1とする。GSKは64分にもPCを獲得。MF小沢がヒットシュートを決め6-2とする。しかし、GSKの反撃もここまで、6-2でコカが圧勝し2連勝で勝点を6とした。 |

| | | | |
|------------|-----------|-------|-------|
| テクニカルオフィサー | 今庄充世 | アンパイア | 安岡裕美子 |
| ジャッジ | 西松孝治、西上英雄 | | 山田恵美 |

< A組 >

| | | | | |
|--------------|---|--|---|--------------|
| 天理大学 | 2 | $\left(\begin{array}{c} 1-0 \\ 1-2 \end{array} \right)$ | 2 | 東海学院大学 |
| 勝点 1 1分1敗 | | | | 勝点 1 1分1敗 |
| | 3 | PC | 5 | |
| | 9 | シュート | 8 | |

| | |
|----|--|
| 得点 | 天理 → 2分笠原、67分遠藤 東海 → 37分小沢、19分清水美 |
| 戦評 | 東海のセンターパスにより試合が開始された。試合開始直後に天理は、MF辻井がキレのあるドリブルで東海DFを抜き去りゴール前に構えていたFW伊藤にパス。伊藤はゴール前のFW笠原につなぎ、笠原は冷静に決め先制点を手に入れる。波に乗る天理は再三、東海ゴール間際まで迫るが得点できない。両チーム互いに譲らない攻防を繰り広げ1-0の天理リードで前半を折り返す。 東海は、後半開始から猛攻を仕掛ける。FW永井がサークル内でGK景山に倒されPSを獲得。FW小沢が冷静にゴール左に決め同点にする。逆転したい天理は15・18分にPCを獲得。しかし、東海のDFに阻まれ決めることができない。54分、天理DFのスキをつき東海MF真野がサークルの中にいたFW清水美にパス。清水美はドリブルで天理DFを抜き、ゴール右下にリバースシュートで決め2-1と逆転する。負けられない天理は67分、センターライン付近からFW伊藤が巧みなドリブルで相手を抜き去り、サークルトップのMF高木にパス。高木のシュートのリバウンドを必死のオーバーラップで駆け上がったMF遠藤が押し込み同点とする。終了間際に東海はPCを獲得し、最後のチャンスを得る。それを天理のDF陣がしっかりと守り、そのまま試合が終了し2-2の引き分けで互いに勝点1を分け合った。 |

| | | | |
|------------|-----------|-------|-------|
| テクニカルオフィサー | 今庄充世 | アンパイア | 相馬知恵子 |
| ジャッジ | 西松孝治、西上英雄 | | 高橋英行 |

< B組 >

| | | | | |
|------------------------|----|--|---|--------------|
| ソニーHC BRAVIA Ladies | 2 | $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ | 1 | 南都銀行 |
| 勝点 6 2勝 | | | | 勝点 1 1分1敗 |
| | 2 | PC | 2 | |
| | 10 | シュート | 3 | |

| | |
|----|--|
| 得点 | ソニー → 11分石田、50分中川 |
| | 南都 → 35分眞鍋 |
| 戦評 | <p>南都のセンターパスにより試合が開始された。お互い手の内を知りつくした両チームは落ち着いたペースで試合を展開。先にチャンスを得たのは南都。南都は、前半8分に獲得したPCのチャンスに眞鍋が強烈なヒットシュートを放つものの、ソニーGK加藤の堅守でゴールならず。一方ソニーは前半11分、FW山本が正確なダイレクトパスでサークル内で待ち構えていたFW石田にパス。石田は冷静にゴール左下にシュートを決め先制。その後、流れを掴んだソニーが優勢に攻撃を展開。南都は粘りながらチャンスを狙う。前半残り5分を過ぎると南都は前線からプレスをかける。そして34分、南都はPCを獲得。DF眞鍋はねらいすましたシュートをゴール右下に決め同点に追いつく。前半は1-1で折り返す。</p> <p>後半、ソニーは立ち上がりから、優勢に展開。39分にPCを獲得するが南都のDFに阻まれ得点することが出来ない。それでも攻撃の手を緩ませないソニーは50分、FW石田のシュートのリバウンドをMF中川が絶妙なシュートを決め、2-1で逆転とする。同点に追いつきたい南都は再三カウンター攻撃でチャンスをつくるものの、ソニーDF陣を崩すことが出来ない。結局試合はこのまま終了し、ソニーは連勝で勝点を6に伸ばした。</p> |

| | | | |
|------------|-----------|-------|------|
| テクニカルオフィサー | 中野典子 | アンパイア | 根岸郁美 |
| ジャッジ | 我妻活美、飯田育子 | | 森本道理 |

< B組 >

| | | | | |
|--------------|----|--|---|------------|
| 山梨学院大学 | 1 | $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ | 0 | 立命館大学 |
| 勝点 4 1勝1分 | | | | 勝点 0 2敗 |
| | 8 | PC | 2 | |
| | 11 | シュート | 3 | |

| | |
|----|--|
| 得点 | 山梨 → 23分西永 |
| 戦評 | <p>コカ・コーラのセンターパスにより試合が開始された。山梨は試合直後にPCを獲得する。しかし、立命GK柳生のファインセーブにより得点することができない。互いに激しい攻防を繰り広げる中、山梨は15分にまたもPCを獲得するが決まらない。山梨は23分に3度目のPCのチャンスを得る。MF松瀬の狙いすましたパスをMF西永がタッチシュートでゴール左上に決め待望の先制点を手に入れる。反撃する立命はFW上田、MF木原の巧みなドリブルで山梨ゴールに迫るもののDF伴田を中心とした山梨の堅い守りに阻まれる。白熱した戦いは1-0の山梨優勢で折り返す。</p> <p>後半先にチャンスを得たのは立命。PCを獲得するがシュートは大きく枠を外れる。負けじと山梨も8分にPCを得るものの得点できない。お互い1点が欲しい試合展開、焦る両チームは決め手を欠いてしまい主導権を握れず時間が過ぎていく。同点に追い付きたい立命は最後に猛攻を仕掛けるがあと一歩及ばず、1-0で山梨が勝利した。</p> |

| | | | |
|------------|-----------|-------|------|
| テクニカルオフィサー | 中野典子 | アンパイア | 壽山由樹 |
| ジャッジ | 我妻活美、飯田育子 | | 我妻順子 |